

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 1 月 19 日

所属	人間社会学部	職名	教授	氏名	猪熊 ひろか
研究課題	市川真間周辺地域の地域活性化の可能性—千葉商科大学学部生と商店街の日常的なかかわりを通して				
研究キーワード	地域活性化、商店街	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	11. 住み続けられるまちづくりを	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>本研究は、近年注目されている主体的な学びを促す教授・学習の手法であるアクティブ・ラーニングのうち、大学教育として実施される地域の諸団体とかかわるアクティブ・ラーニング活動へ参加することと、その活動に関係する商店街内店舗と大学生との間に生じるかかわりとの関連に焦点を当て、量的調査を用いて明らかにし、関係人口論の観点から考察するものである。関係人口論において、このようなアクティブ・ラーニング活動は関係人口の創出につながるとされており、本研究では、創出された関係人口が地域と築く関係性の内実について考察した。</p> <p>調査より、アクティブ・ラーニング活動により商店街内店舗の方々と具体的な関係性が生じたことで、参加する回数が多いほど「入りにくい」と感じながらも実際には利用回数が増える、というかかわりが生じたことが明らかとなった。それにより、若者と地域とのかかわりについて検討する関係人口論における関係のあり方について、多様な展開の可能性が提示された。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>猪熊ひろか，2021，「地域社会学会第46回大会自由報部会2-1『まちづくり、市民活動』批評論文 地域社会とまちづくり」『地域社会学会ジャーナル』No.1，地域社会学会ジャーナル発行委員会，17-21.</p> <p>猪熊ひろか，2021，「地域の諸団体とかかわるアクティブ・ラーニング活動と関係人口論——商店街とのかかわりにかんする大学生への量的調査から——」『千葉商大紀要』第59巻，第2号，15-27.</p> <p>【学会発表等】</p> <p>3. 主な経費</p> <p>研究を進めるために必要な、関連書籍、OA 関連機器、学会費など。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特になし。</p>					
(本文は2ページ以内にまとめること)					